

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

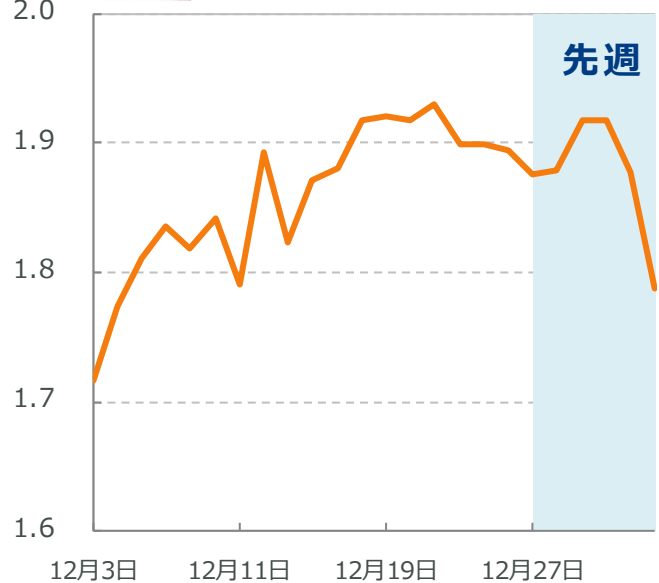
POINT 先進国国債利回り

【2019年12月30日～2020年1月3日】

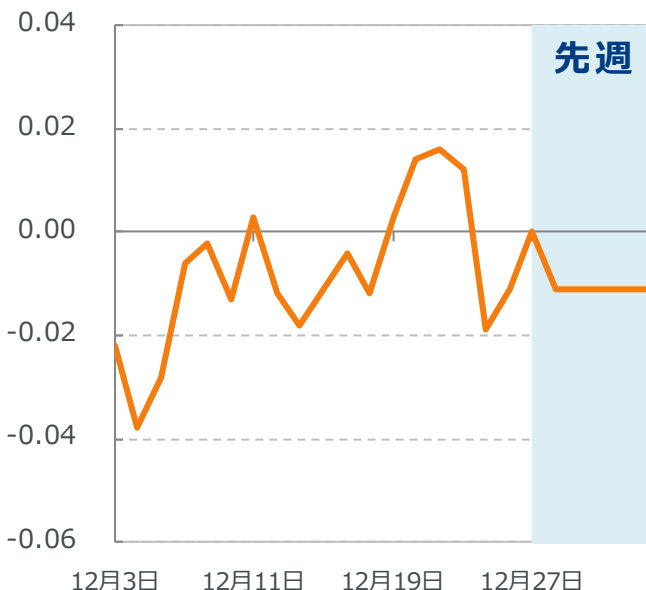
国債への逃避買いが進む

- ◆ トランプ米大統領が指示したバグダッドでの空爆によるイランの有力司令官殺害を受けて中東情勢緊迫化への懸念が高まり円高・株安が進み、国債は買いが優勢となりました（利回りは低下）。
- ◆ 12月の米ISM製造業景況指数が市場予想を下回ったことなどを背景に米製造業の回復の遅れが示されたことも、国債相場の上昇要因となりました。

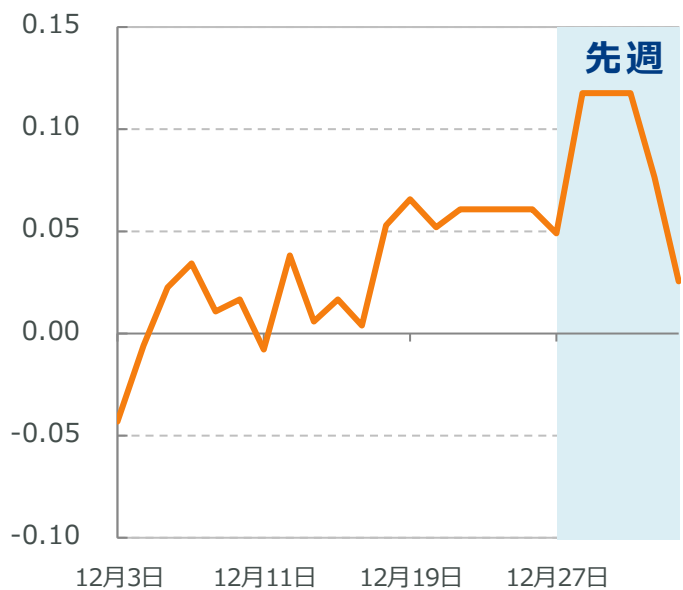
(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



(注1) データは2019年12月3日から2020年1月3日（日次）。

(注2) 2019年12月31日～2020年1月1日は年末年始のため休場（日本は2020年1月3日まで休場）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちよコツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

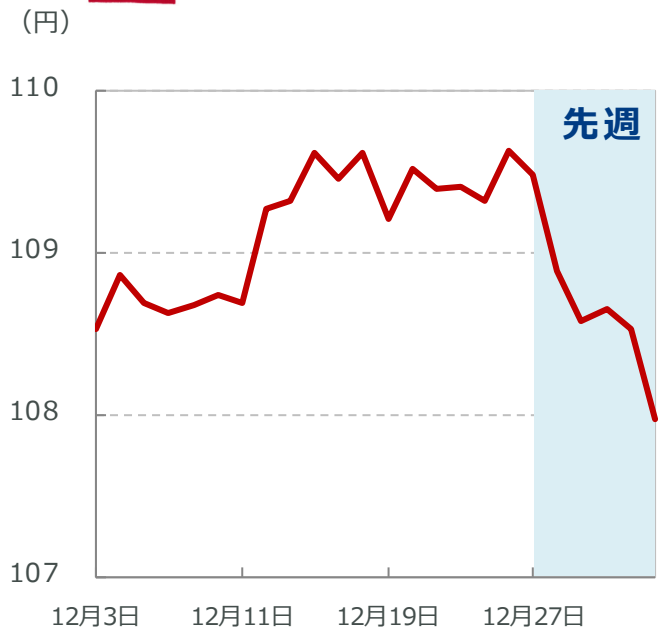
POINT  **為替**

【2019年12月30日～2020年1月3日】

円が全面高

- ◆ 中東情勢に対する緊張感の高まりなどを背景に、逃避先資産としての円が主要通貨に対して上昇しました。
- ◆ 円は対米ドルで一時107円台まで上昇し2018年10月以来の高値を付ける場面がありました。

 **米ドル円**



 **ユーロ円**



 **豪ドル円**



(注) データは2019年12月3日から2020年1月3日 (日次)。
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成